

## 令和2年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和2年10月19日（月）

地区 元中野町・旭町地区

会場 市民活動センター

### 〈意見交換〉

○司会 続いて、意見交換の時間に移りたいと思います。

この時間は、町内会からの要望事項やテーマプレゼンテーションの内容のほか、地域の課題等に対する意見交換を中心に、午後8時、20時には終了するよう進めてまいりたいと思います。

お時間に限りがございますので、お一人につき1件ずつ、3分以内を目安に、簡潔にご発言いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、町内全体に関わらないような個人的な要望や苦情等につきましては、発言を制止し、まちかどミーティング終了後、個別にお話を伺わせていただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。

また、今年のまちかどミーティングは、全体の人数を制限するため、市側の出席者につきましても例年より少なくなっております。そのため、意見の内容によっては本日この場での回答が難しいものもあろうかと思われましても、その場合には担当部署に引き継ぎまして、後日改めての対応となりますことをご了承ください。

なお、発言する際には、最初に町内会名とお名前を述べてからご発言ください。

最後に、繰り返しのお願いとなりますが、ご発言は一人につき1件ずつ、3分以内を目安にお願いいたします。

それでは、ご意見のある方は、マイクをお持ちしますので、挙手のほうをお願いいたします。

今、マイクお持ちします。

◆市民 新中野町内会の■■■■と申します。

事前要望の中で、スピーカー及びマイクを車に搭載していただきたいということをお願いいたしました。その中で、取組状況等ということで、青色防犯パトロールは警察から青色回転灯を自動車に装着してという、青色防犯灯のことを長々と書いております。私が、私がというか、新中野町内会でお願いしたのが、防犯でなくて、これはたまたま防犯灯がありましたので、青色回転灯などのパトロール用品の貸出しをしています。同じようにということで、これじゃないんですよ。同じように車に取り付ける放送設備をつけてほしいんだよということを行っている。じゃ、青色回転灯をつけてるところに、防犯のマイクをつけたとしても、我々が犯人を捕まえるわけでもないし、悪いことをしてる人をこらって言うわけにもいきませんから、青色防犯灯のパトロールじゃなくて、もしも、2年、3年前に起きた地震がありましたよと。そのときに町内会が、町内に回って、皆さん、大丈夫ですか、けがしてる人はいませんかとか、物が壊れてませんかというように、災害のときにつけていただきたい、いや、つけていただきたいというよりも使わせ

ていただきたいということで、青色回転灯をつけていようがつけていまいが、もしその町内会で希望する人がいれば、そのように取付けをして、地震や何かのときに町内をパトロールするというようなことにつけたいなというふうに思いまして、この回答はちょっと違うかなというふうに思います。

○司会 市のほうから回答お願いいたします。

◎危機管理室主幹 危機管理室の杉岡と申します。日頃から市の防災行政にご協力いただきまして、ありがとうございます。

今のご質問で、当初、事前要望の中で防犯の関係でお答えしたんですけれども、災害時の広報ということでございましたので、災害の分野からお答えさせていただきます。行政のほうとしましては、災害時の広報活動につきましては、市の災害対策本部の中で広報担当という部分を決めておりまして、災害時、応急的に皆さんを避難誘導する際の避難広報に関しましては、市のほうの施設についております車両のほうで広報を回ることとしております。ただ、町内会さんのほうで独自に、町内会の独自の活動として行いたい場合につきましては、防災の関係でいいますと、自主防災のほうで助成金のほうございますし、あと、今、整備してる最中でございます防災行政無線を、市内全域をカバーできるように今、配置しておりますので、まず、そちらのほう、災害時の避難広報ですとか、そういったときにお聞きいただくようにしまして、その状況を見まして、町内会さんのほうにご協力いただきたい場合にはまた個別に相談させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○司会 どうぞ。

◆市民 ちょっとよくあれなんですけれども、確かに防災、全市に防災のスピーカーをつけていただけたということでございますけれどもね。広報活動やってるって言いますけれども、こないだの地震、2年か、前に地震がありましたけれども、私はそのときに町内を隅々まで自分の車でぐるっと回しまして、表に出てきた人たちには、どうです、大丈夫かといって言ったら、家に戸棚が倒れたとか、そんなことないかとかいうようなことを聞いて、ぐるっと回りました。1時間以上かかったと思えますけれども、その間に市の広報というのは一切ございません。市の広報車が来たというの全然見たことないんですけれども、それは新中野町内会を外したんでしょうか。ちょっとそういった無線、屋内にスピーカー、今つけると言ってますけれども、それをもしても地震が起きたよ、それがわあわあ鳴って、はい、皆さん、避難してくださいって言っても、お年寄りとかなんとかちゅうのは、なかなかできない。地震があつたらもうしゃがみ込んで、なかなか動けないですよ。そういうときにこの防災マイクをつけた車が、皆、元気ですか、誰々さん大丈夫ですか、福祉ですとかなんとかって、いろいろ町内会でも活動しておりますので、そういったときに、あっ、あそこに80のおばあちゃんがいるよとか90のおばあちゃんがいるよとか、そういったことが分かっていたら、そういったときにでも家の外から大きなマイクでもって、皆さん、大丈夫かといって言える。鍵を開けて入っていくわけにいきませんから、表からでも中の人に聞こえるように、こういったものを取り付けてほしいなというふうに思います。

○司会 質問としては、まず2年前の地震のときに、市の広報車に出会わなかったというのが1点と、

もう1点が、要約すると、町内会にいる方のほうが高齢者の方と面識もあるから、いち早く声をかけたいというような趣旨でよろしいですかね。

◆市民 はい。

○司会 市のほうから回答お願いいたします。

◎危機管理室主幹 危機管理室の杉岡です。

災害時の避難の広報につきましては、先ほど言いましたように、全市的に配備いたします防災行政無線のほうでアナウンスはさせていただきます。災害でよく言われるのが自助、共助、公助ということでよく言われるんですけども、先ほど申されました、地域に根づいた顔が見える状態の人たちの安否を確認するためのスピーカー等の話ですと、そちらは行政のほうではなくて共助、町内会単位、自主防災組織単位でお願いしたい範囲でございます。それに必要な設備等につきましては、先ほど言いました助成金等を利用していただきまして、共助に役立てていただきたいとは考えておりますけれども、苫小牧市のほうとしましては、災害時に有効な災害の情報、あと避難の情報ですね、伝えてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○司会 よろしかったでしょうか。

◆市民 はい。

○司会 ほかにございますか。前の方にどうぞ。

◆市民 私、汐見町町内会の■■■■と申します。役員が少ないので、■■■■やっております、それまた苦情係もやっております。

それで漁師の方が、裏のほうに広場があるんですよ、そこはもう何年も前から言われているんですけども、もうおとし、やっとならしてもらったんですよ。それが効果はいかっただけですけども、2年たつとまた少し傷んできたので、今年、市役所の人、環境、市民生活課、管財課、みんなと一緒に話ししてくれということで会館に呼んで来ていただいたんです。それで大分約束してもらって、すごい捨て猫が多いので、草を刈ってもらった。それ、今までもやってもらったんですけども、そんなに全部やっただけじゃなかったんで、今年は全部やってくれたんです。したら、猫が大分なくなっただけで、ああ、よかったなと思って。伸びてきたらまたやりますからということで。それと広場の問題も柵を見ながら、傷んできたらまた直しますって、もう頑丈なのをつくるとまた中のほうでいろいろ防犯対策が悪いということで、今のままで我慢しようということになって、あと、ちょっと漁師の行き来が、港と行き来があるので、そこ、通り道がすごい暗いんですよ。それで、暴走族も走ってて危ないということで防犯灯を頼んだんです。それも考えて、なるべくつけるようにいたしますと。それを防犯灯をなるべくではなくて、絶対つけてほしいんです。それがあれば、町内会も問題はないと思うんですよ。あとは悪いところ、その都度その都度来ていただいて直してもらってるので、大変助かってます。それ、ありがとうございました。以上です。

○司会 市のほうから回答お願いいたします。

◎道路維持課長 私、道路維持課の小西と申します。

あと、うちの道路維持課のほうで、汐見町の今言われた場所ですね、担当の者お話ししたと思

うんですけども、現地のほう確認して、つける方向で町内会さんと、どの場所がいいかということとで協議させていただくということでお話ししたと思いますので、その辺はまた改めて町内会さんのほうにお伺いしてお話進めたいと思いますので、よろしくお願いします。

◆市民 ありがとうございます。

○司会 ほかにございますか。

後ろから2番目の列の。

◆市民 末広町内会の■■■■でございます。この11番にも書いてあります。これ毎年言っておりますけれども、しつこいぐらいに今年も言わせていただきたいと思いますが、東小学校がいよいよ今年の夏に新築になりまして、東中学校と一緒に学校ができました。我が末広町内会の目の前にあって、道路1本隔てた向かいに学校があるんですけども、末広町は若草小学校に行けということで、私も毎朝、学校に通学する子供の見守り活動もしておりますけれども、ずっと歩いて文化公園、そして体育館の横を通過して、そして国道36号線という非常に交通量の多いところを、歩道橋を渡って学校に行かなければならないと。やはり距離が長くなれば、いろいろ事故、それからいろいろな事件などの心配もあります。以前に、その公園で犬を散歩していた人のその犬を触ろうとしてかじられたということもありますし、そういうような事故も、やはり距離があるから、また、そういうところを通らなければならぬからだというふうに思います。そういう意味で、ぜひともここは目の前にある東小学校のほうに通えるように校区の変更をお願いしたい、そのことをどうぞよろしくお願いしますと思います。

○司会 市のほうから回答をお願いします。

◎教育部長 教育部長の瀬能と申します。今、お話しいただきました案件につきまして、毎年のように末広町町内会の方からご要望いただいております。今までお答えしていたのは、市内全域の校区の見直し、また、統廃合を考える中で末広町の子供、小学生についても校区の見直しを考えていきたいというようなお答えをしておりました。ただ、今現在その作業を行っておるんですけども、なかなか市内全域の校区の見直し、統廃合ということになると、まだまだ時間がかかるということもありますので、まずできるところからやろうじゃないかということで、教育委員会のほうで決めました。今お話ありました末広町の小学生に関しましても、教育委員会として検討作業に入らせていただくことになりました。まずは若草小学校のPTAの方々にまずお話を伺うという作業から行いたいと思います。その後、末広町の子供たち、小学生の親御さん、実際にどういうふうに考えていらっしゃるのかといったアンケート調査を行った上で、教育委員会としての考え方をまとめたいと思っておりますので、その教育委員会のまとめ方が、案ができれば、また町内会の方とも相談させていただきたいと思っておりますので、まずはそこから今年度スタートしていきたいと思っておりますので、早速、検討作業に入らせていただきます。

◆市民 よろしく願いいたします。

○司会 ほかにございますか。

今、マイクお持ちします。

◆市民 船見町内会で■■■■をやっています■■■■と申します。よろしくお願いします。

まず、キツネとカラスにつきまして、市のほうで環境生活課と、それから公園課の方ですかね、よくやっていただきましたので、私としてはまずはこれをお礼を言いたいと思います。

最初、春先にコンポストを掘られたり、それから2丁目公園にふんがたくさんあったんですね。それでエキノコックスだとかなんかの問題があったんで、ちょっと問題が大きくなって、キツネがすごく多くて、最初、私が目の前で確認したのは5匹しかいなかったんですけど、まだいたみたいで、今現在も5匹ぐらいいるみたいなんですよね。2匹から3匹が交通事故で死んだりなんかしてまして、何か随分とずれたんですけど、住む域もずれてましてあれなんですけど、いろんなことを市のほうで対応していただきました。カラスについても対応していただきました。やっぱりまずそれはもうよくやっていただきましたんで、お礼をきっちり言いたいと思います。どうもありがとうございました。

それからあと、コロナの影響で今年は町内会活動がほとんどできなかったんですよ。昨日初めて、まさかこういうテーマになると思ってなかったんですけど、053の関係で秋の大掃除をやることができまして、そして、それなりに集めたり、そうしたらその間は非常に、船見町というのはこっちへ抜ける抜け道があるんですよ。そこへえらく大きなごみが捨てられていまして、そしてその生ごみがまるままと捨てられてたのがすごく多くて、あの辺が汚れてたんですよ。だから、それを我々が細かく、ちょこちょこっと掃除しながらやってたんですけど、これはもうなくならなかったです、最後まで。昨日、掃除をしたんで、果たしてここ、いつまでもってくれるかなと思って見てるとこなんですけども、ドライバーの人の、何ていうんでしょうかね、あれを啓蒙をちゃんとしなきゃいけないかなという感じはしてます。

あと、本当にコロナの影響で、あとは町内会活動、本当にできなかったんですけども、最終的にこれがやっぱり来年もこんな状態になると非常にどこも大変だと思うんですよ。それで、例えばPCRみたいなものを社会的な状態でできないかなとは思ってるんですけど、市長さんとしてはどうお考えでしょうか。何かお聞きしたいなと思ってます。

そういうことで、私どもとしては、私が文句あんまり言ったせいかもしれませんけども、非常によく対応していただきましたんで、ありがとうございました。

◎市長 PCR検査センター、今、苫小牧の現状からいいますと、苫小牧、非常に北海道内の様々な自治体あるいは医師会からも非常に評価されて、非常に早い段階で医師会が中心になって、もちろん道と連携しながらPCR検査センターはつくってるんですね。保健所経由だと苫小牧市立病院も同じような受皿があって、2か所、今やっています。ですから、かかりつけ医に行くと、今これから冬ですから、寒くなって風邪ぎみになってかかりつけ医に行くと、そのお医者さんの判断でPCR検査やったほうがいいよという、毎日のように検体が出ています。しかし、ほとんどの場合、陰性なんですけれども、市民の皆さんの安心のために、ただ、直接そこに行っても駄目なんです。やっぱりお医者さんにまずかかって、お医者さんの判断でPCR検査というのが鉄則になってますので、それはまだまだ余力がありますので、もしご心配であれば、ぜひPCR検査、かかりつけ医あるいは初めて行くようなお医者さんでも、そのことを言えば、熱さえあれば、症状さえあれば、そういう案内しますので、どんどん行ってくださいというのは、ちょっと僕も

なかなか言うあれではないんですけども。

それからもう一つ、今これから新型インフルエンザとダブルで来るというふうに言われていて、間もなく医師会長と記者会見することになっていますが、発熱検査センターというのも設置することになります。これも道内の都市では初めてになります。そういうところに行ってPCR検査センターしたほうがいい場合は、そこからすぐ回って、市民の皆さんの心配、不安というものを解消するような拠点がまた一つ、間もなくできますので、ぜひそういうところを利用していただきたいなと思います。

あと、国のほうでPCR検査センター、いろいろ今、新しい検査方法が出てきていまして、どうなるかというのは、国の動きそのものは、もう少し明確なことがはっきりしないと、なかなか我々のところまでは来ないという状況がありますので、ただ、苫小牧はまだまだ余力がありますので、ぜひ安心してお医者さんにかかって、検査センターで検査をしてもらいたいなと思います。

◎道路維持課長 道路維持課の小西と申します。

先ほど道路のごみ拾っていただき、本当ありがとうございます。今先ほどもごみの問題として、やっぱり啓蒙しなきゃならないというご意見いただきましたので、関係機関とちょっと清掃のほうの関係と相談しながら、もし、場所にもよりますけども、看板等つけて、啓蒙できるようなものが設置できるということが判断されれば、町内会さんとお話ししながら、対応取っていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。またご連絡したいと思ひますので、よろしくお願ひします。

○司会 ほかにございますか。

一番前の方に。

◆市民 ちょっと来年の心配なんですけど、行事を全部消化しないで、何だ、残高って、繰越額が多くなっても、補助金ってもらえるんでしょうかね。

○司会 町内会の。

◆市民 ええ、町内会の。

○司会 町内会の補助金に関するご意見でございます。回答お願ひします。

◎市民生活課長 お世話になっております。町内会担当をしております市民生活課の野水でございます。

今回のコロナの関係で、各町内会さん、活動がままならない状況で、予算が使えない状況で不用額が出ると。それで、7月の末に市のほうから町内会活動としてご利用いただきます活動助成金、それと高齢者に対するの補助、それと青少年、それと環境美化に関わる部分の主な4つの補助金等について、こういう使い方をしていただければ、町内会さんとして活動したよということで対応取らせていただきますということで、文書のほうでご周知をさせていただいております。もし町内会さんのほうでそこ確認取れていないようでしたら、私どものほうご連絡いただければ、どういう活動で対応ができるかというようなところ、再度お送りさせていただきますので、ご心配いただかなくて大丈夫かと思ひますので、よろしくお願ひをいたします。

○司会 ほかにございますか。

今、マイクお持ちします。

◆市民 若草団地町内会の■■■■です。

立派な駐車場をつくっていただいて、120台分ありまして、出入口が2か所あります。札幌寄り、それからその活動センター寄りですから、室蘭寄りといいますか、そこを50台ぐらいいしか今、車止まってませんからすいてるんですけども、国道出ていく車が、この信号から入って、向こうの信号行かないで、うちの駐車場の中通って抜けていくんですけど、ちょっと見えて、まだ事故ないからいいんですけども、1日100台ではないんですけど、ぼちぼち通っていきんで、町内で看板つくるといってもちょっと厳しいんで、住宅課かどこかでそういう看板つくっていただけませんか。

○司会 市のほうから回答をお願いします。

◎市民生活課長 交通安全対応しております市民生活課でございます。

ちょっと伺った中で、あくまでもそれ違反行為でございますので、そういうような車両に対しての注意喚起の看板ですとか、そういうようなところ、ちょっと町内会さんにご相談させていただいて目立つところに設置をしていきたい。また、そういうような運転をしているドライバーさんいらっしゃるのであれば、いただければ、警察のほうにしっかりと通報して巡回でパトロールをしていただくですとか、そういうような対応も図っていきたいと思いますので、ちょっと後ほどお話しさせていただければと思いますので、よろしく願いをいたします。

○司会 よろしかったですか。

ほかにございますか。

一番前の方に。

◆市民 若草団地町内会の■■■■と申します。今年もまた薄暗い時期が来まして、私は今のところまだ車を運転してるんですけども、毎年ちょっとこの時期になると、何ていうか、気になってしょうがないというか、街灯がちっと暗いので、予算的に難しいのであれば、何ていうんでしょう、明かりをもうちょっと明るいものに取り替えていただけないものかと思って、何か暗いところが非常に多いので。あと大きな交差点では、特に何となくそういうふうに思いますね。黒い服とか紺色の服とか、そういう目立たない洋服を着て交差点に立たれる方が非常に多いので、右折左折、非常に怖いなどと思って運転しているんですけども、その辺のところはどうでしょうかね。ちょっと毎年、びっくりびっくりしながら運転させてもらってますけれども。

○司会 団地の周りだけじゃなくて、市内の道路全体の話ですか。

◆市民 ええ。まあそうですね、できれば。苫小牧、暗いところが多いという、そういうお話もちっと耳に入ってきてますので。

○司会 市のほうから回答をお願いします。

◎都市建設部長 おぼんでございます。都市建設部長をしております栗野と申します。よろしく願いいたします。

日頃より都市整備につきまして、ご理解とご協力をいただいておりますこと、この場をお借りしましてお礼をさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

今、照明灯の、街路灯の話かと思っております。今、くしくもありましたように、駐車場なのか、道

路なのかというところ、ちょっと分からなかったんですけども、一応道路ということでございますね。

◆市民 私ほちょっと、交差点を含めて、道路ですね。

◎都市建設部長 はいはいはい。それでちょっとお気づきの点が具体的にありましたら、この後ちょっと場所を確認させていただいて、我々もその現地を確認させていただいた上で、どういった対策ができるかというのを検討させていただければなというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

○司会 ほかにございますか、ほかはございませんかね。  
中央の方。

◆市民 新中野町内会でございます。先日、プレミアム商品券ということで皆さん何冊も購入ということをお願いした。ところが、購入の調整に遭いまして、6冊買いたいなと思ったのが2冊になりましたということでございます。2冊になろうが3冊になろうがいいんですけども、一番最初に6冊買えますよという、これは平成27年度に実施してるプレミアム商品券ですとか、いろんなことを考慮して上限の冊数を設定していますよと。市役所のお偉い人で、もう統計学から何かいろんなことを勉強してきてる人が、こう簡単に、7割弱減なんですよ。今ここにも書いておりますけども、あっ、プレミアム商品券が出たんだから、テレビを買おう、何を買おうと言って計画を立てちゃう。ところが、2冊しか来なかったよと、そして7割弱減なんですよ。1割、2割の減ということであれば、まあ、多少仕方がないなというふうに思うかもしれませんが、7割も落ちてしまったら、せっかくこの経済の一環でやるんだからということで計画したのに、全然駄目になっちゃう。全部現金で払わなくなってしまいますよということでございます。ということ覚えていただきまして、これからまた何回もこういうプレミアム商品券という事業があると思いますので、できるだけ7割も減じゃなくて、1割、2割の減は我慢するとして、そのぐらいの統計学を取っていただきたいなというふうに思います。

○司会 市のほうから回答をお願いします。

◎緊急経済対策給付金室主幹 給付金室の小泉と申します。お世話になっております。

まず初めに、皆様方、このたびのプレミアム付商品券の購入に際しまして、ご紹介のように多くの皆様からご応募いただきまして、そのことに対しましては心から感謝を申し上げるところでございます。また、今ご案内のように、市民の皆様からの期待に十分にお答えできなかった点につきましては、大変申し訳なく思っております。

私どもといたしましては、市民の皆様のご購入希望どおり対応できないか、増刷等も含めて様々なシミュレーション等してまいりましたけれども、この商品券の印刷が金券で特殊印刷であるということ、偽造防止印刷であるということから、さらに商品券を印刷する場合には、さらに1か月半程度の時間を要するということから、追加印刷した場合に販売自体が11月以降になってしまうと、そういう懸念もございました。当初の一般商品券、とまチケの各10万冊、今回送付させていただきました決定通知のほかに、追加分の決定通知を10月末頃に再度送付することとなりますと、市民の皆様のご混乱ということも懸念したところでございます。そのため、当初ご

案内のとおり、各10万冊に少し上乘せをしまして、今回、決定通知をさせていただきまして、調整方法としましては、既往の冊数を変えずに、世帯ごとの抽せんなども考えられますけれども、申請いただいた方の多くの方々にこの商品券を使っていただきたいというところから、希望購入冊数が1冊の方でも購入できるように、世帯の購入希望冊数を世帯員数で割りまして、1冊当たりの冊数として、それぞれ10万冊を下回らないような調整をさせていただきました。そういった経過がございます。

27年度を参考というお話もございましたけれども、今回購入の商品券プラス、今回は65歳以上の方、約5万人の方、それから18歳未満の方、約2万6,000人の方、それから今年の4月28日から12月31日までに生まれたお子さん、約850人と推計してございますけれども、お一人5万円分の商品券というところで、それ全てが使用された場合の経済効果としましては16億円以上を見込んでございます。このたびの購入希望をたくさんいただきまして、追加ということで若干増やしておりますけれども、その追加分を含めた経済効果につきましては、さらに2億程度増えまして18億円程度と見込んでございまして、経済効果としましては平成27年度の14億5,000万円だったところから、それ以上の効果というところも見込んでございます。ご意見ございますように、今後もしこういった事業がありましたら、我々としましても、そういった今回のことも教訓と申しますか、しながら、またさらに十分な検討というものをしたいと考えてございますので、よろしく願いいたします。

○司会 ほかにございますか。

前の方。

◆市民 若草団地の[ ]です。去年のことだと思うんですが、とまこまいイルミネーションの会場で、時間に間に合うように行ったんですけどね、ポイントの受付がしてもらえなかったって。それと、何ですか、広報に書かれてあったことと、何か内容が違ったというんですけれども、広報って苦小牧の市民広報ですよ。それに書かれてあったのと、何か内容が違ったので、どうしてなんでしようかということなんですけど。

○司会 イルミネーションの点灯式のときに、とまチョップポイントが多分つけられなかったという点が1点と、あと広報の内容と何か違ったというのは、どういったことで違ったんですかね。

◆市民 ポイントのあれが違った、何だろう、例えば4時半までに入ればポイントいただけますよということで、孫ちゃんの手引いて、一生懸命走って会場まで行ったそうです。私もそれ聞かれた話なんですけど、そしたらテーブルもみんな畳まれて、そこに行ってももう受付はなかったって、そういうことだけ。二、三十分早く終わってた。

○司会 ポイントの受付が4時半までに行けば受付ができるという広報だったんですけども、行ったらポイントがつけられなかったというようなことでよろしいですかね。

◆市民 がっかりしましたという。

○司会 市のほうから回答お願いいたします。

◎まちづくり推進課まちなか再生主幹 まちづくり推進課の長谷川と申します。

イルミネーション事業について、今お話をいただきました。とまチョップポイント500ポイ

ント付与の関係だと思うんですけども、昨年のイルミネーションにつきましては、事前に点灯式の前までに整理券を受け取っていただいて、点灯式が終了した際にポイントを付与させていただくというやり方をさせていただきました。今、言われたようなお話、一応、広報とかフェイスブック等々で周知はさせていただいたんですけども、十分行き届いてない部分がありまして、何件かご意見をいただいたところがございますので、今後このようなことやる際には、その辺、十分注意してさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

ちなみに今年の駅前イルミネーションにつきましては、新型コロナウイルスの関係もございまして、少しでも日常を楽しんでいただきたいと思いますし、イルミネーションは予定どおり開催したいと思っております。ただ、新型コロナウイルスの関係で、集客イベント等については実施しないということで、今、準備を進めておりますので、お時間がありましたら、また12月から点灯しておりますので、楽しんでいただければと思います。

ちなみにそのポイントの関係も今年は今のところ予定はしておりませんが、来年度以降、このような意見もご参考にさせていただいて、進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○司会 よろしかったですかね。

ほかにございますか。

どうぞ。

◆市民 市で発行しておりますとまチョップポイントカードがあるんですけど、例えば今日何点って入れましたら、あとちょっとポイントの入れ出しがなくて、6か月たったら消えてしまうんですよね。期間を1年ぐらいに延ばすことはできませんでしょうか。

○司会 とまチョップポイントの使用しない前の有効期限の話になります。市のほうから回答お願ひします。

◎商業振興課長 商業振興課、小泉と申します。今、ただいまとまチョップポイントのことでご質問いただきまして、日頃ご利用いただきまして、ありがとうございます。

この制度は平成28年から始まっておりまして、当初から半年間、例えば市のイベントに参加していただいてポイントつけていただくとか、市内の商店街でお買物をしていただいてポイントをつけていただくとか、そういったところで地域内経済の活性化というところの目的もございまして、そういったところからも半年間、有効期限というものを設定させていただいております。ただ、その半年間の中に、新たにイベントに参加をしていただくですとかポイントを使っただけですとか、そういったポイントの動きがあれば更新されるという仕組みになってございまして、現状ではなかなかその半年というところをすぐに変更というのは難しいんですけども、そういったご意見いただきましたので、今後のポイント事業に生かせるような検討というものをしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

○司会 ほかにございますか。

それでは、これで意見交換は終了させていただきます。

最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たりまして、岩倉市長よりご挨拶いただきま

す。

◎市長 大変身近な問題をたくさんいただきまして、ありがとうございます。すぐ対応できる問題はすぐ対応します。今日もこれ終わった後、幾つかいろんなお話を聞かせていただく場面があるかと思います。しかし、やっぱり時間がかかる問題だなというものもありましたし、これは行政として予算措置も含めてなかなか厳しいなという問題もありました。しかし、すぐ対応できることはしっかりすぐ対応させていただきたいというふうに思っております。

プレミアム商品券の話も今回まちかどミーティングでそんなにたくさんはいただいてませんが、同じようなご質問を二、三いただいております。我々の読みの甘さということは本当おわびを申し上げなければなりません、これは予算が絡む問題、国の2次補正に関わる予算と、道のほうからの予算もいただきながらやっています。先ほどもちょっと触れてましたが、追加印刷するのにやっぱり2か月ぐらいかかると、お尻は2月7日だと、お尻を延ばすことができないと、逆に余計な混乱を市民の皆さんにさせてしまうということで、大変申し訳なかったんですが、限定したのになりました。ただ、27年のお話もありましたけれども、例えば家族3人で18枚買うよって申請して、実際には10枚買ったと、もちろん満度で買われる人もいますけれども、家族の多い方は20枚買うよって言っついて10枚だけだったというような、実際にケースもございまして、結果として、今、事業の効率からいうと、今回、大変なご迷惑かけましたが、6枚が2枚ということで、事業効率からいうと非常に高い数字が出せるのではないかというふうに思っております、問題は、それを皆さん使っていただくということが一番ですので、せっかく買っていただいたのを100%使っていただくと、市域内、各お店等々にお金が回る、それが目的でありますので、今回そういう制限をつけてしまったということは、もう本当におわびを申し上げますけれども、ぜひ市民の皆さんに2月7日まで100%使っていただくことがこの事業の趣旨でありますので、ぜひよろしくお願いを申し上げたいなというふうに思います。

最後までお付き合いいただきましたこと、心から御礼を申し上げまして、最後のご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございます。（拍手）

◎司会 以上をもちまして本日のまちかどミーティングを閉会いたします。

ご帰宅後には手洗い、うがいを徹底していただきますようお願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。